

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回 豊中市産業振興審議会		
開催日時	令和3年（2021年）5月27日（木） 19時00分～20時00分		
開催場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、Zoomを利用したオンライン開催	公開の可否	可・不可・ <u>一部不可</u>
事務局	都市活力部 産業振興課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由	会議の冒頭に、案件2「中小企業振興部会の報告について」は、報告内容が豊中市情報公開条例第7条第3号の規定に該当するため、非公開とすることが、出席委員全員の総意として決定されたため。		
出席者	委員	梅村委員、加賀委員、北村委員、菅野委員、山脇委員、和田委員	
	事務局	長坂都市活力部部長、藤家都市活力部次長、高島産業振興課長、良本課長補佐、多田係長、牟田、島村	
	その他		
議題	<p>(1) (仮称) 豊中市 新・産業ビジョン策定に関するスケジュール・方向性について</p> <p>(2) 中小企業振興部会の報告について</p> <p>(3) その他</p>		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

# 令和3年度第1回豊中市産業振興審議会議事録概要

日時：令和3年5月27日（木）19時～20時

開催方式：新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、通信アプリZoomを利用したオンライン開催方式

出席者：加賀委員（会長）、梅村委員（副会長）、北村委員、菅野委員、山脇委員、和田委員（東委員、吉村委員は欠席）

## 1. 開会

- ・ 審議会の成立確認（委員の過半数の出席）：委員8名中6名にご参加いただいているため、本審議会は成立すること
- ・ 資料の確認
  - 資料1 （仮称）新・産業ビジョン策定に向けてのスケジュールについて
  - 資料2 （仮称）新・産業ビジョン中間とりまとめ案
  - 資料3 地域経済再生支援プログラム
  - 資料4 豊中市産業振興審議会 中小企業部会の報告
- 参考資料 令和3年度豊中市中小企業チャレンジ事業補助金募集要領
- ・ 「案件2. 中小企業振興部会の報告」について豊中市の情報公開条例第7条第3号に基づき、非公開とすることを決定

## 2. 案件

### （1）（仮称）新・産業ビジョン策定に関するスケジュール・方向性について

#### （事務局）

- ・ 令和2年度中（令和3年2月頃）に、「新・産業ビジョン」を策定すべく進めてきており、ビジョンの方向性等の基本方針については、昨年度の審議会でご意見をいただいているところである。
- ・ その後、令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染症が世界的規模で急速に拡大し、経済状況が一変したことを踏まえ、地域経済の再生・復興を目的とした短期的な計画である「地域経済再生支援プログラム」を策定した。
- ・ 今年度は、昨年度に取りまとめている「新・産業ビジョン中間とりまとめ案」をベースとしつつ、社会経済状況の変化を把握分析し、「地域経済再生支援プログラム」の内容とコロナ後の地域経済の目指すべき姿を加味した中長期的な計画として、「新・産業ビジョン」を策定したいと考えている。
- ・ また「新・産業ビジョン」は「中小企業チャレンジ促進プラン」を包含した総合的な産業振興の考え方を示すものとしての位置づけを想定している。
- ・ 本日は、「新・産業ビジョン」策定のスケジュールの確認と「中間とりまとめ案」、「地域経済再生支援プログラム」の報告が主な内容となっている。

(事務局から「中間とりまとめ案」と「地域経済再生支援プログラム」の内容報告、令和3年度の策定スケジュールについて説明)

(会長)

- ・今年度は、昨年度、新型コロナウイルス感染症の影響により策定に至らなかった「新・産業ビジョン」を策定するために各方面から意見をいただきたい。
- ・「新・産業ビジョン」は、10年程度を見越した中長期的なビジョンであると聞いているが、計画内容の実施はいつからになるのか。

(事務局)

- ・令和3年度中(令和4年3月)に策定し、令和4年度4月からが計画期間となる。

(委員)

- ・令和2年度に「地域経済再生支援プログラム」を策定しているが、令和3年度からの施策実施の実績数はどのくらいになるのか。
- ・議論の前提のための実績数として、わかるものだけでも提示してもらいたい。

(委員)

- ・「新・産業ビジョン」は、10年程度の長期計画と聞いている。仮にコロナの直接的な影響は短期間で終息したとしても、コロナ前の状況にそう簡単に戻れるものではないと考える。市として、例えば、中小企業が多いといった豊中市の特徴が、コロナの影響でどのように変化しているといった現状分析を行っているのか。
- ・この2年で激変した豊中市の地域経済の特徴はどうなっているのか、豊中市の地域経済を考える上で、変化したと感じている部分を現状にそった課題として、議論の前提条件とするために共有したいと思う。

(事務局)

- ・「地域経済再生支援プログラム」は、短期の施策実施プログラムであり、中長期的な展望として明確なものはまだない。まずは、令和3年度に「地域経済再生支援プログラム」の施策内容に則った施策展開を行い、その結果をふまえて今後の方向性については検討しながら進めていく予定である。
- ・審議会でも専門の委員の皆様にも、施策の方向性や今後の展望についてもご意見をお聞きしながら進めていきたいと考えている。
- ・地域経済の実情の数値としては、空港がある街としてインバウンドや宿泊需要に関する数値、再編途中でコロナの影響を受け、大型商業施設やホテル等が撤退し、再考を迫られている千里地区の再整備等に関するものがあると思う。

(委員)

- ・「新・産業ビジョン」の策定に関しては、短期と中長期を分けて議論すべきであると考えている。

- ・長期的な視点としては、今後はSDG s や環境対策の視点も必要になると考える。企業はグリーン投資等の環境投資や環境対策に動き始めている。国も環境対策には重点を置いており、今後の産業振興のためのビジョンであるならば、国や企業の動きにリンクするかたちで策定するのが望ましいのではないかと。

#### (会長)

- ・千里中央地区等の具体の地区のことを考えていく際にも、環境の変化やデジタル化といった社会情勢、社会潮流等の関係性を考慮し、ビジョンを策定するに際して、変化の推移をデータで残しておくのがいいのではないかと。

#### (委員)

- ・「地域経済再生支援プログラム」にはもう少し豊中市の特徴が欲しかった。そもそもどのような街にしたいのかということから、施策のターゲットを明確にして、従来の施策からのプラスアルファ分はここであるということが「新・産業ビジョン」の策定に関して出せたらいいと思う。

#### (事務局)

- ・「地域経済再生支援プログラム」に基づく施策として、コロナで影響を受けた市内消費を喚起するため、キャッシュレス決済ポイント事業やプレミアム付商品券事業等の消費喚起策の実施、三密対策として産業フェア事業の中止、IT化が進んでいない中小企業への商工会議所と連携したITコンシェルジュ派遣事業等のIT化推進事業等、豊中市の実情を踏まえた事業の選択と集中行い、施策展開を実施している。
- ・また、豊中市の特徴のひとつである空港を活かし、流通・雇用・生活等、空港と地域を結び付けて活性化させていく可能性を模索している。

#### (委員)

- ・コロナの影響により在宅時間が増え、サテライトオフィス等の需要が増加していると聞いている。サテライトオフィス関連の施策展開の進捗状況はどうか。

#### (事務局)

- ・最近、千里中央では一定の需要があり、民間企業が整備している。豊中市としても、とよなか起業・チャレンジセンターが岡町駅前のきたしんビルに仮移転した際に、シェアオフィスに加えて、リモートワークができるフリースペースを設置したり、テレワークができる環境の整備を少しずつ行っている。

## (2) 豊中市産業振興審議会 中小企業振興部会の報告について

- ・部会長からの報告
- ・部会原案を市への答申とすることを決定

### (3) その他

#### (会長)

- ・次の議題、「案件3 その他」について事務局から何かあるか。

#### (事務局)

- ・次回の審議会は10月に予定している。次回以降は「新・産業ビジョン」の具体的内容についての議論をお願いしたい。
- ・2点目として、本日の会議録について、事務局で作成した案を後日、委員の皆さまにご確認いただき、内容を確定する。なお、会議録の概要については豊中市のホームページなどで公開することを了承いただきたい。

#### (会長)

- ・本日予定していた案件は以上で全て終了した。これで令和3年度第1回豊中市産業振興審議会を閉会する。

以上